

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 埼玉県さいたま市

本事業の担当部局名 子ども未来局子ども育成部子ども・青少年政策課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	若者のライフデザイン形成支援事業					新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和7年度	
総事業費(A)(円)	8,318,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	8,318,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	8,318,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	8,318,000	0	0	0		8,318,000	
	対象経費支出予定額	8,318,000	0	0	0		8,318,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 令和7年度からスタートした本市のこども計画では、20代女性の有配偶率の低さや、既婚者より未婚者の方が結婚や子育てに不安を感じている傾向があることなどの課題を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚や子育てに対する不安の解消や希望の形成 ・出会いの機会の創出 ・結婚後の生活支援 <p>による「若年層に対する結婚支援の充実」を重点施策の1つに位置付け、「共育で・孫育ての推進」や「社会全体で子育てを支える取組の強化」と併せて重点的に取り組むことにより、少子化対策を推進する。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、若年層に対する継続的・包括的な結婚支援の一環として、既に全中学校で実施中の赤ちゃん・幼児触れ合い体験に続き、人生の大きな分岐点に向かう20歳前後や結婚を意識する20代後半の若者に対し、令和7年度に開発したデジタルツールを活用して、各年代に応じたイベント等を開催し、結婚や子育てに対する不安の解消や希望の形成を図る。本事業を通じてライフデザインを考え、結婚への希望を持った若者には、既に県と連携して実施中のマッチングシステムなどを活用した出会いの提供や結婚に向けた支援につなげる。</p>						

番号	項目	内容
1	ライフデザインイベントの開催	<p>【大学生～若手社会人(20歳前後向けイベント)】(継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●概要 ・開催回数1回、定員100人を想定 ●開催内容 ・令和7年度に開催したライフデザインデジタルツールを活用しながら、ライフデザインに知見のある講師からの講演だけでなく、個人ワークやグループワーク等を通じ、ライフデザインについて学ぶ場を提供する。あわせて、同様の状況にある参加者同士の意見交換、交流を行う場とする。会場は結婚式場等を利用し、結婚や子育て経験者の実体験を紹介。和やかな雰囲気、結婚や子育てに対する不安を払しょくし、希望を持ってもらいやすい雰囲気づくりを心掛ける。 ※ あくまで結婚や子を持つことについては個人の選択であるとし、価値観の押し付けとならないよう留意する。 ●周知・広報について ・二十歳を祝う式典「二十歳の集い」を通じたPRのほか、市報、市ホームページ、市公式SNS・LINE、さいたま市民アプリ、本市ライフデザインデジタルツールなどを通じ周知。 <p>【20代後半向けイベント】(新規)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●概要 ・開催回数1回、定員100人を想定 ●開催内容 ・20代後半という年代に応じた、出会いや結婚に重きを置いたライフデザインイベントを実施。本市ライフデザインデジタルツールを紹介しながら、長期的な人生設計を検討してもらう。出会いや結婚に関する有識者の講演や、個別相談等が可能な環境を整える。県の婚活支援センターの紹介等も実施し、出会いの機会創出に繋いでいく。本イベントはライフデザインを体験すること、結婚への悩みや不安解消を図り、行動に繋げることを目的としたイベントとする。 ※ あくまで結婚や子を持つことについては個人の選択であるとし、価値観の押し付けとならないよう留意する。 ●周知・広報について ・大学生～若手社会人向けイベント参加経験者に対する継続的な情報提供を通じた周知のほか、市報、市ホームページ、市公式SNS・LINE、さいたま市民アプリ、本市ライフデザインデジタルツールなどを通じ周知。
	2	大学・企業主催ライフデザインセミナーの支援
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ライフデザインそのものの認知度が低いのが現状であることから、令和7年度に実施したイベントやセミナーの開催報告を開催風景の画像などを用いて、分かりやすく公開し、令和8年度のイベントやセミナーに対する若者の関心を高め、参加しやすい環境を整える。</p>		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		合計特殊出生率	人	1.42 (R11年度)	1.14 (R6年度)
		0～14歳の転入超過数	人	1,450 (R11年度)	859 (R6年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
		合計特殊出生率		1.14 (R6年)	
		婚姻件数	件	6265 (R6年)	
		婚姻率		4.4 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ライフデザインイベント・セミナーの参加者数	人	400 (R8)	175 (R8年2月10日現在)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	90 (R8)	89.4 (R8年2月10日現在)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	将来の様々なライフイベントへの理解が深まったと答えた参加者の割合	%	80 (R8)	91.2 (R8年2月10日現在)
⑤	人生のライフイベントに対する考え方に変化があった人の割合	%	90 (R8)	94.1 (R8年2月10日現在)	
⑥					
⑦					
⑧					